



0合目から頂上まで大変でした——だから今気分は最高!



発行 学校
扶桑北中印刷
文化出版(株)
TEL (0568)62-6363

私が以前扶桑北中に勤務していた時、若狭湾少年自然の家で指導員をされていた大森先生が、生徒の詩に曲をつけてくださったのが始まりである。小川千春さんが作詞した「自然の愛の中で」と、中村昌史君・千田久美子さん作詞の「レッツゴーWakasa」は今も若狭自然教室で歌い継がれている。

合唱は本校の特色ある活動のひとつである。宿泊研修でも自然教室でも修学旅行でも、みんなで合唱することで、クラスや学年の心がひとつになる一時である。

若狭湾少年自然の家での自然教室では、歌を通じて実に十五年の間、大森和義先生と絆を結んでいる。

つい先頃まで愛・地球博が開催されていた。九月十二日の扶桑町の日に、本校の二年生が愛知県館のお祭り広場で世界の人々に合唱を披露することができた。秋の涼風の中で、歌を通じて日本各地から見学に訪れた人々、世界から訪れた人々となることができたことは、本校の歴史にとっても特筆すべき、すばらしいできごとである。



歌は人をつなぐ

涼風のごとし

校長 武山 純司

今は教頭先生となられて多忙な大森先生であるが、本校が若狭湾少年自然の家で自然教室をする時には、いつも都合をつけてくださってジョイントコンサートをしてくださっている。

大森先生には「海は人をつなぐ



大きな役割を担う

北中PTA

PTA会長 富野 浩美

平成十七年度PTA会長に就任しました富野浩美です。
本年度扶桑北中学校PTAは、丹羽郡PTA連絡協議会の事務局、丹波地方PTA連絡協議会の事務局を担当いたします。したがって私は、それぞれの会長にも就任することになりました。あわせて副会長の安達みゆきさんと一緒に尾張地区および県のPTAの役員にも就くことになりました。そして本年度日本PTA全国研究大会が愛知県で行われることになり、丹波地方PTAが特別第2分科会(文部科学省関係部会)を担当することになりました。大会は夏休みの八月二十六日に無事開催する

母のごとし」という歌がある。自分の住む村に伝わっている「遭難した朝鮮の人々を助けた歴史」を題材にした歌である。

この歌の題名から、「歌は人をつなぐ涼風のごとし」という言葉がふと浮かんで来た。歌によってクラスや学年、学校が固い絆で結ばれ、大森先生とも世界の人々ともつながりを結ぶことができた。歌は、まさに人をつなぐ爽やかな涼風のようなものである。

ことができましたが、ほんとうに多くの方々のお力で成功することができました。今までの準備の中で、いろいろな立場の方とお会いし、お話をし、貴重な体験をさせて頂きました。そして、PTA活動の組織の大きさや偉大さを改めて感じている次第です。まだこれから多くの活動に関わっていくこととなりますが、取り組んでいく活動が扶桑北中学校はもとより、愛知県全体の子どもたちの成長のためになることを信じ、またこれを機会に扶桑北中学校のPTAが大きく発展していくことを願っています。大変微力な私ですが、一杯頑張りつつもいろいろです。多くの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

6/3・4 (金) (土) 7/15・16・17 (金) (土) (日) 5/24・25・26 (火) (水) (木)

宿泊研修・自然教室・修学旅行

- ・協力して、みんなで目指そう頂上を
 - ・Natural Color みんなでつくる友情の色
 - ・仲間をつくろう 新たな絆
- ～ 作ろう、造ろう、創ろう ～

1 年生
2 年生
3 年生

一度は見学したい国会議事堂でした



僕たちは五月二十四～二十六日、東京と山梨県に行ってきました。一日目の班別行動では上野にある国立科学博物館を見学しました。そこではちょうど恐竜博をやっていたので見に行ってみました。最大のティラノサウルスの骨など、世界初公開の化石がありとても感激しました。他にも科学館には自分で体験のできる実験があり、理科好きな人にはもってこいの場所だと思えます。そのあとは「アメ横」に行ってきましたが、雑誌などに書いてあった通り活気であふれる所でした。他にも書ききれないほどの素晴らしい思い出を作ることができ最高の修学旅行になったと思います。

修学旅行
our school trip
鈴木 友也

私がかけていきたいと思えます。

私が若狭で学んだことがいくつもあります。一つ目は、企画することの難しさです。私は実行委員の企画部として、若狭のことを企画しました。中でも大変だったのはルールを決めることです。みんなのことも考えて決めるのはとても難しかったです。二つ目は、友達や仲間の大切さです。協力し一つのことをやりとげる素晴らしさを学ぶことができました。三つ目は、自然と触れ合えたことです。山や海で活動することによって、たくさんものを見つけたことができました。

他にも学んだことはたくさんあります。若狭で学んだことを日常に生かしていきたいと思えます。

自然教室
若狭で学んだこと
松本みなみ



カッター訓練 一息ピッタリ

真剣に、カレー作り



私は、宿泊研修に行っていることの大切さを知りました。伊吹山登山では、みんなで励まして登ることができました。みんなでどんなに辛くても協力し合いました。宿泊研修では、普段学校では見ることができない一面が見られたり、友情を深めることができました。仲間の大切さ、目標の大切さ、いろんな人への感謝の気持ちなど、目には見えないとても大切なことを学び、得ることができました。

この中学校生活三年間で、宿泊研修で学んで得たものを忘れずに生かしていきたいと思えます。

宿泊研修
宿泊研修に行つて
浅井 椎奈

万博の感想

小さな国際交流
一年 遠藤 眞信
校外学習で行った

美しかった大地の塔

二年 前川 賢太
僕はこの日、初めて万博へ行きました。たくさんまわって見たかったです。あまり見てまわることができませんでした。まわった中では、名古屋市のパビリオン「大地の塔」は、高い塔全体が万華鏡になっておりきれいでした。今度行く時はもっとまわってみたいと思えます。

万博初体験

三年 岩田 奈々
八月十日、私は初めて万博に行きました。私は外国館をひたすらまわりました。いろんな国の文化などを少し知りました。足に限界がきた私は大地の塔でゆっくり休みました。万博は時間のゆっくり流れる楽しい所です。とにかく疲れたけれど、私のまた行きたい場所の一つになりました。

完全燃焼の夏を終えて

―部活から学んだこと―

野球部

最後の夏・最高の夏

増田 健太

僕は部活から様々なことを学びました。みんなで一つになることやればできるということ。そして管内大会で勝って西尾張までいくことができ、チームメイト、先生方に感謝したいです。そして、最後の夏を最高の仲間と野球ができたことを本当に嬉しく思います。

ソフトテニス部

部活から学んだこと

星野 良馬

僕は、三年間ソフトテニス部の一員としてやってきました。そして、その三年間でいろいろなことを学びました。それは、団結力と努力することの大切さです。これからは部活で学んだことを生かして頑張っていきたいです。

サッカー部

部活を終えて

川田 渡

三年間の部活動を通して、僕はいろいろなことを学びました。サッカーは十一人でするスポーツですが、僕たちの学年は九人しかいないくても困りました。でもその分、みんなで協力して頑張れたと

思います。部活動をやっていてとてもよかったです。

バレーボール部

北中ファイイトノ

武井 茜

チーム全員で勝ち取った新人戦三位ノ管内大会では惜しくも二回戦敗退。バレーボールをする中で、頑張ることのすばらしさ、チームワークの大切さなどたくさん学びました。そして、佐藤先生、コーチの方々、ありがとうございました。

バスケットボール部男子

部活から学んだこと

井口幸太郎

僕らが男バスに入学して学んだことはたくさんあります。部員全員で力を合わせることに、努力し続ければ自分の力になること、最後の最後まであきらめないということを学びました。そして、夏の大会では、学んだことを出し切り一杯やり遂げられたのでよかったです。

バスケットボール部女子

部活を通して得たもの

石井まどか

部活を終えた今、私は部活を通

して多くのものを得ることができました。最後まであきらめない心。

そして、仲間の大切さ。これからは部活で得た多くのものを忘れず、大切にしていきます。

ソフトボール部

部活を終えて

小室 准子

私は部活動を通して、チームワークの大切さと何事にも最後まで張りあきらめないことを学びました。これはすべてのことに言えると思います。こつこつ頑張ってきたことは、必ず形になって残ります。これからもいろいろなことに挑戦していきたいと思っています。

水泳部

成長した

二年半 男子 尾関 陽柄
女子 大前あゆみ

私たち水泳部は、二年半で大きく成長できたと思います。男子は大会でベストタイムを出し、女子は準優勝という成績を残しました。練習を積んできた成果が出たと思います。成長した二年半は、私たちの大事な思い出であり、一生大切にしていきたいです。

剣道部

部活から

学んだこと 男子 浅井 学
女子 安藤 菜月

剣道部の主将になって、「まともめる」ということの難しさを知り、

主将の大変さを実感しました。

しかし、それと同時に部員たちの個性や、良いところが今まで以上に見えるようになりました。剣道部での多くの経験は、僕を大きく成長させてくれました。

吹奏楽部

一番大切なことは

清水 佑子

吹奏楽部のモットーは「聴く人

生徒会

一丸と なって

生徒会長

武井 茜

私たち前期生徒会執行部は、この半年間「I'll keep running on my way」をスローガンに、みんな一丸となって取り組んできました。私が一番心に残っている行事は、新入生歓迎会です。

北中紹介、合唱、メッセージカードの贈呈など、自分達なりに考えを出し合い、先生方にも助けをいただきました。年に一度の生徒総会も、とても良いものになりました。今までの活動を通して知ったことは、私たち執行部はとてもしっかりと、何事も一丸と頑張ってやりますという事です。そんな仲間にとても感謝しています。そしてたくさん北中生にも協力してもらったので、生徒会活動を半年間存分にできたのだと思います。感謝の気持ちを忘れずに、この北中の伝統を後輩に伝えていきたいと思っています。



―新入生のみなさん 扶北北中へようこそ―



PTAの窓



広報

前年度研修文化委員から新聞発行を独立した活動内容とした広報委員会が、本年度新たな委員会として発足しました。

今年度から二学期制導入となり、前期終業式にあわせて十月七日第一回PTA新聞発行（No.69）、三年生巣立ちの式にあわせて三月三日第二回PTA新聞を発行（No.70）します。

よりよい紙面作りを目指して委員一同協力して活動していきたいと考えています。今年度もPTA活動にご理解ご協力をお願いいたします。

福祉厚生

福祉厚生委員会の今年度の主な活動について紹介させていただきます。

- ・第一回学校保健委員会。校内体育大会のお手伝い。講習会。
- ・給食試食会。
- ・第二回学校保健委員会講習会においては、家庭科の小川先生を講師にお招きし、皆さんが喜んでいただける内容を

生活文化

今年度より、生活委員会と研修文化委員会（新聞発行を除く）が合わさり、生活文化委員会となりました。主な活動内容は、

研修視察の企画・提案、夏休み・冬休み・春休みの校外巡視の参加、地域ふれあい活動関係やFKCボランティア関係等の活動に携わっていきます。地域の方たちと生徒たち、そしてPTAとが交流を深めていけたらいいなと思っています。

皆さんご協力をお願いします。

環境安全

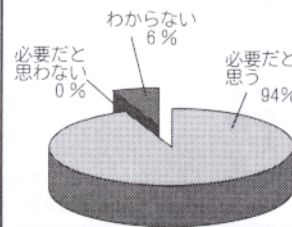
本年度から専門委員会の組織と担当活動内容の変更があり、私たちの委員会は環境整備として、ゴミゼロ運動の参加依頼、ゼロの日のあいさつ運動と年間活動させていただきます。

資源回収は、昨年度より回収方法が変わり、各家庭で集荷場所まで持参していただいております。今年もご理解ご協力よろしくお願いたします。

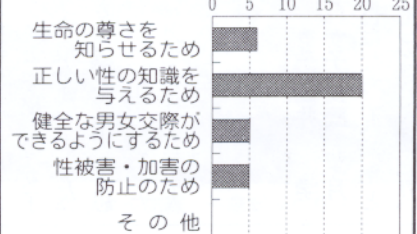
性に関するアンケート調査

学校保健委員会より
(PTA委員36名対象)

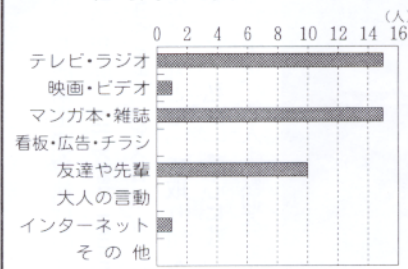
1 性教育は必要か



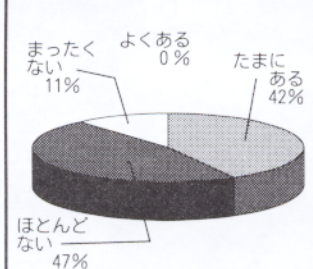
2 必要だと思う理由



3 性的関心を受けているもの



4 家庭での、性に関する会話



赤ちゃんがようやく歩き始める頃、つまずきそうになると親はタイミングよく手を差しのべます。思春期の子どもたちも親の目から見れば、あの頃に似て本当に危なっかしいものです。違うのは子ども自身にも適切な判断ができるように手助けすることではないでしょうか。大事なことは何かを一緒に考え、まだ始まったばかりの長い人生、スタートでつまずかないようにしたいものです。

三年保護者

うちの子は大丈夫！と思っはいるものの、この乱れた世の中でいつ事件に巻き込まれるかわかりません。親もドキッとするような情報が飛び交い、興味をそそる誘惑も多くあります。子どもたちは、親が思っている以上に心だけは大人になってきていると思います。お互いにテレがあり、子どもの相談者にはなれなくても、一番身近な良き理解者として子どもの成長を見守っていききたいと思えます。

二年保護者

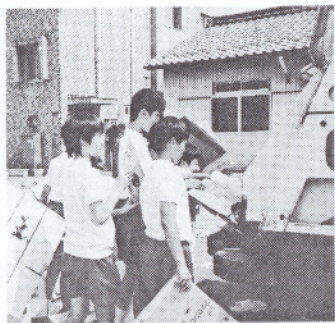
学校薬剤師さんの指導で、子どもと話す時に役立つ言葉がありました。私自身心あたりが多かったので少しご紹介してみます。

話は短く、言葉は少なく、親が喋れば喋るほど子どもは耳を傾けない。同じことを繰り返さない。静かな声で話し、大きな声を出せば出すほど相手の耳に入らない。子育ても終わりに近づいていますが、今からでも心がけてみようと思えました。

三年保護者

資源回収のお礼

第一回 六月実施
第二回 九月実施
暑期中、ご協力ありがとうございました。



みんなで 協力 !!

編集後記

発行が二回になった分、内容を充実させたいと紙面作りに取り組みました。大切な時期の子どもたちを見守る目を持ちたいものです。